

# サッカーにおけるシュートに関する研究

～2011-12 Liga Espanola の FC バルセロナに着目して～

奥村 勝也 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)

指導教員 望月 聡

キーワード: ゴール, シュート位置, エリア

## 1. 緒言

近年, サッカー界で最も注目を浴びているクラブチームの一つがスペインの FC バルセロナ (以下 FCB) である (西部謙司, 2011). FCB のサッカーはポゼッションフットボールであり, 流れるようなパスワークで強固なディフェンス (以下 DF) を崩しゴールを決めるという攻撃的サッカーである.

私は今回 FCB の攻撃的サッカーに魅了され今 FCB がどのようにして相手 DF を崩し得点に結びつけているのかに興味を持った.

そこで本研究では, 昨シーズンのリーガ・エスパニョーラで生まれた FCB の全 107 ゴールに着目し, 最も多かったシュート位置から攻撃パターンを明らかにすることを目的とする.

## 2. 研究方法

昨シーズンの FCB の試合 (リーガ・エスパニョーラのみ) の全 38 試合を分析対象とした. サッカーコートを 5 つのエリアに分け, 最も多かったシュート位置を調べた. シュートは得点が決まったシュートのみとし, 得点が決まるまでの過程を分析し, 攻撃パターンを調査した.

## 3. 結果と考察

最も得点が多く生まれた位置は, ペナルティエリア内で 97 本だった. その内 10 本は, ペナルティキックだった. このことから, FCB は相手が

最も密集しているゴール前まで完璧に崩し得点を決めていることがわかった. またクロスボールからの得点が 87 本中 10 本に対し, バイタルエリア, 中央エリアでのスルーパスからの得点が 23 本と約倍の本数となり, FCB の攻撃はサイド攻撃よりも中央突破が多いと考えられた.

## 4. まとめ

本研究で, FCB は素早く細かいパスワークで相手 DF を完璧に崩し, ペナルティエリア内まで侵入し得点を決めるという, FCB 独自のサッカースタイルを徹底していることがわかった. FCB の選手は, 他チームに比べて体格に恵まれていないため, 相手が守備の陣形をつくる前に素早いパスワークで崩していることが明らかになった.

## 引用・参考文献

Alberr Puig Ortoneda (訳) 井上知 (2011) FC バルセロナの人材育成術, 株式会社ケーコム.

西部謙司 (2011) バルセロナ戦術アナライズ, 株式会社シナノ.

Oscar Pedro Cano Moreno (訳) 羽中田昌 (2011) バルセロナが最強なのは必然である. 株式会社シナノ.

WOWOW (2011-12) リーガ・エスパニョーラ, FC バルセロナ試合第 1 節～第 38 節.